



# 河小だより

四日市市立河原田小学校

第3号 2019. 5. 17

## ★授業 100%★

授業には、すべてが詰まっています。「学力」は勿論のこと、友達との関係づくりの方法「人間関係調整力」、自分の考えを分かりやすく相手に伝える「コミュニケーション能力」などを育成する要素が詰まっています。子どもたちは、授業にしっかり取り組んでいれば、上述した力が自然と身につけていくよう、教師は、授業を考えています。学級・学年の仲間とともに、授業を創る、学校のきまりを守る、委員会の活動や掃除・給食の係活動を一生懸命する、そのような活動を仲間とともに毎日続けることで、自分は認められているんだ、自分は大切な存在なんだと自己有能感をもったり、自尊感情を高めたりします。小学校の教育は「人づくり」と考えています。本校の授業スタイルについて、次のことを全職員が共通認識して、授業に取り組んでいますので、お知りおきください。

○「聴き合える関係」をつくる。

→「ねえ、わからない。ここ教えて。」が言える雰囲気作りをする。

→「つまり」、「でもね」で聞くことができる仲間づくりをする。

○きれいな環境を整えることの日常化を図る。

→全校で帰りの会後に一分間整頓タイムを持つ。

自分の身の周り（机の中や机の周り、ロッカー、げた箱、水筒のひもなど）教室（黑板、階段、掲示物、本棚、掃除道具、靴かけなど）の整理整頓をする。

○ていねいに作業に取り組ませる。

→見やすいノートをつくる。定規を使って線を引く。習った漢字は使う。下じきを使う。

本年度も、本校の教育活動に、ご理解、ご支援、ご協力、よろしくお願いします。

## ★「置き勉」に関するお知らせ★

教科書などを学校に置いて帰ることを「置き勉」と言います。「家庭学習を大切にする」「持ち物を自分で管理する」「明日の準備をすることを習慣化する」「見通しを持った行動がとれるようにする」など、日々の持ち物を用意し、持ち帰りをするのは子どもたちにとって大切な教育活動だという考えで、「置き勉」を極力避けてきました。加えて、管理面で教室に置いていくことは盗難などのリスクを背負うので推奨しませんでした（ただし、絵の具セットや習字道具、一部教科書や副教材、ノート等を学校に置かせたり、学期初め・学期末には、持ち物が偏らないよう、数日に分けて持ってくるよう指導したりしていました）。しかし、今、社会では、小・中学生が通学するときの荷物の重さを懸念する声が出ています。確かに、教科書の大型化や副教材の増加により、ランドセルに入れる荷物量は増えていると感じています。文部科学省も子どもたちの通学かばんの重量などに配慮するよう求めています。

そこで、本年度は、改めて次のように「持って帰るもの」を確認しました。それ以外は、置いてよいものとしします。ただし、盗難等のリスクもあるので、「置いていかなければならないものではない」ことにご留意ください。全部持って帰ってもいいです。「持って帰るもの」以外は学校に置いていてもいいです。

保護者のみなさんが、お子様と話をしていただき、きめていただきたいと思います。

## 【持って帰るもの】

「算数、国語の持ち物」

「家庭学習が出ている教科の持ち物」

しばらくの間は、子どもたちも混乱するかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いします。

### ★今、学校で気になること★

今というわけではないのですが、常々、気になっていたことがあります。それは、放課後、忘れ物を取りに来る子どものことです。学校に忘れ物を取りに来る途中、交通事故にあたり事件に巻き込まれたりすることがあります。本校においては、そのような事案は発生していませんでしたが、今後、起きることも考えられます。その点が、ずっと気になっていました。真面目に取り組んでいるからこそ、放課後に取りに来ることは分かりますし、時には保護者の方が付き添ってきていただいていることもあり感謝もしています。ただ、やはり、事故・事件に巻き込まれるリスクは拭い去れません。

そこで、今後は、下校後、忘れ物を学校に取りに来ることは、原則しないように子どもたちに指導します。次の日の持ち物であれば、次の日に学校へ来ればあります。当日の宿題であれば、学校へ来てから教師が休み時間や時間にゆとりがあるときにやらせます。締切日に間に合わない提出物のことであれば、職員に連絡を頂けば対応を伝えさせていただきます。子どもたちに、そのことを指導します。ご家庭においても、ご理解とご協力をお願いします。

ただし、忘れ物をしてもいいというわけではないことは、ご家庭においても指導してください。前述しましたが、「持ち物を自分で管理する」「必要なものを持って帰る」「明日の準備をすることを習慣化する」「見通しを持った行動がとれるようにする」ということは、社会人になったときの大切な要素です。そのような自己管理能力を育てることが小学校教育の大切な目的の一つです。必要なものは持って帰ることは徹底して指導していきますが、下校後、忘れ物を取りに来ないように合わせて指導します。このことは、子どもたちが社会人になったときに、法律を守り、より良い生活をしていくことと結びつくので、「学校のルール」を守るということを厳しく指導しているのと同じです。

社会人としてのモデルである保護者の皆様から子どもたちにその旨を伝えていただけると幸いです。よろしくをお願いします。

### ★交通安全確保について★

新年度が始まってから四日市市内において、登下校時や放課後に少なからず交通事故が発生しています。本校においては、本年度は交通事故の報告はありませんが、改めて子どもたちの登下校時や放課後の交通安全確保に留意したいと思います。

子どもたちには、交通事故の危険を予測し、回避できるよう下記の点を中心に指導します。保護者の皆様におきましても、改めてお子様と交通安全についてお話していただけると幸いです。

- 歩くときは、横一列になって車道にはみだしたりしない。
- 交差点を通るときは、必ず一旦停止及び左右の確認を行い、決して飛び出さない。横断歩道を渡るときであっても信号を過信せずに、左右を十分に確認してから渡る。
- 自転車乗車の際は、ヘルメットを着用する。

### ★PTAからのお知らせ★

昨年度まで、PTA学年委員が中心になって作成していました「学年児童名簿（PTA連絡網）」を、本年度から個人情報保護の観点から作成をしないこととしました。昨年度までの「学年児童名簿（PTA連絡網）」も破棄していただきたいと思います。

ご理解とご協力をお願いします。